

## いじめ、未然に防ごう

## 篠山の小学校で研修授業

篠山市立八上小学校で29日、いじめや不登校などを未然に防ぐ「予防教育」の研修授業があった。市内の小中学校などから生徒指導

や道徳教育担当の教諭約20人が授業を見学した。

鳴門教育大学予防教育科学センターが開発したプログラムで、児童や生徒に



授業を受ける5年生と研修に参加した教諭たち＝篠山市立八上小学校

学校生活で不適応を起させない予防的な対処を重視している。日本心理学会などに所属する同大学の内田香奈子さんが講師を務めた。

5年生21人を対象に「感情の理解と対処の育成」をテーマにした授業を実施。黒板に「いかり」「おそれ」「かなしみ」など書いたシートを掲示し、いろいろな種類の気持ちがあることを説明した。

授業が終わって、松尾健伸君(11)は「わかりやすかった」と感想を述べた。教諭たちの間では「道徳を教えているが、いろんな気持ちがあることを考えさせられ、勉強になった」という声があがっていた。